

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立恵那高等学校 学校運営協議会（第3回）
- 2 開催日時 令和4年2月25日（金）
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会 長	伊藤 勝彦	恵那市議会議員 元恵那東中学校長
副会長	鎌田 基予子	元恵那市教育委員 100周年記念事業副実行委員長
委 員	秋山 浩司	東海神栄電子工業代表取締役社長
	阿部 伸一郎	同窓会長 セントラル建設（株）社長
	新井 麻美	恵那くらしビジネスサポートセンター
	大畑 雅幸	恵那市教育長
	小関 はるか	恵那市商工課商業振興主任
	高垣 浩	P T A会長
	蜂谷 明子	蜂谷医院医師（ご欠席）
	本多 京子	恵那高校卒業生
学 校 側	岩木 隆義	校長
	古橋 良成	事務部長
	田中 誠二	教頭
	足立 幸司	教務主任
	磯部 徹	生徒指導主事
	林 正幹	進路指導主事
	石原 泰三	保健主事
	佐々木 俊哉	探究理数科部長

### 5 会議の概要（協議事項）

#### (1) スクール・ポリシーの策定について

第2回会議までの議論を反映するよう伊藤会長の助言に基づき作成した修正案について、各委員からの意見や承認を得た。さらに、それらの意見を受けての再修正を行った。

意見1：第2回会議での案に比べて分かりやすい言葉でまとめている。

意見2：「リアル」という言葉は意味合いが伝わりにくい。具体性をもって「社会や自然とつながる」に替えてはどうか。

意見3：各項目の内容が第2回会議での案よりシンプルになり、分かりやすくなった。このポリシーから具体的な取組に落とし込み、動いていくのだと思うと楽しみである。

意見4：「何のために自分を伸ばすのか」を突き詰めると、「志」にたどり着く。

意見5：集団の中で一人一人の生徒が活かされながら、個性を発揮する様を表したい。

意見6：第2回会議での難しい要望に見事に応えた。

本校らしさを求めて、議論と修正を重ねて策定したスクール・ポリシーであった。最終的に参加者の承認をもって策定を完了した。

## (2) 令和3年度自己評価に対する評価

「教育課程・学習指導」「生徒指導（教育相談）」「進路指導」「探究理数科・SSH」「探究企画」「保健厚生・安全管理・防災」の6領域について、学校から示した自己評価に対して、各委員からの評価を得た。

意見1：ICT機器に対するスキルアップを図り積極的に授業に活用していることは大きな成果になっている。

意見2：恵那市役所が関わった事業がいくつかあるが、コロナ禍でも安易に事業を中止するのではなく、ICTを活用して少しでも生徒の学びの機会を確保していたことは、大変印象的であった。

意見3：総合的な探究の時間が生徒にとって自信となっている点は高く評価したい。

意見4：小論文は将来的にも役立つので充実させてほしい。

意見5：学校祭の中止で自主性を高める機会が減ったのは残念だが、日々の生活、部活動等で自主性を伸ばしてほしい。

意見6：本校に限ったことではないが、コロナ禍の影響や、オンライン授業により生徒が他者とコミュニケーションをとることが以前と比べ減っている。行事の実施も難しいとは思いますが、学校内に限らず、他者と関わる機会があるとよい。

意見7：地域探究に恵那市役所商工課も色々関わっており、単に大学進学を目標にするだけではなく、その先の将来も見据えるという観点で、素晴らしい取組だと思っている。

意見8：防災で、生徒が講師となって講習を行い啓発することは、講師の生徒にとっても、聴講した生徒にとっても、双方によい経験になった。

意見9：コロナ禍での生活が長くなり、良くも悪くも慣れてきているところもある。基本的な対策について啓蒙活動を引き続きお願いしたい。

## 6 会議のまとめ

スクール・ポリシーについては、本校らしさを端的で明快、平易に表現するという第2回会議の方向性を踏襲して推敲を重ね策定した。自己評価については、次年度への課題と期待を含めて、振り返り評価を受けた。